

学びっこ通信



発行：栄小学校学力向上チーム

平成31年4月17日



入学式・始業式を終えて1週間が過ぎました。新学期は、どの子も新しい学年の学習に向けて意欲をもって取り組んでいることでしょう。授業中の表情や発言内容からも、やる気が伝わってきます。

さて、本校児童の学習・生活状況について諸調査を分析したところ、「全国平均に比べて平日・休日共に家庭での学習時間が短い」「ゲームをしたり、テレビやDVD等を視聴したりする時間が長い」という傾向が明らかになっています。もちろん学習の中心は学校であり、わかりやすい授業づくりを目指しながら日々授業研究を進めているところです。しかし、学校で学んだことがしっかりと定着するためには、学校だけの学びでは不十分です。学校で「わかった・覚えたこと」を家庭でもう一度確認したり、繰り返したりすることで、確実に自分の力となります。

そこで、今回このような「家庭学習のてびき」を作成しました。家庭と学校が連携して、児童に家庭学習の習慣を身につけさせたいと考えています。ご協力よろしく願います。

家庭へのお願い① → 学習時間の確保

<家庭学習時間のめやす> 10分×学年+10分以上

- 1年生～20分以上
- 2年生～30分以上
- 3年生～40分以上
- 4年生～50分以上
- 5年生～60分以上
- 6年生～70分以上



平日、家庭で学習する時間(宿題、自主的な家庭学習など)の目安です。毎日机に向かう時間帯を決め、集中して取り組めるよう環境を整えることも大切です。最初は、習慣が身につくまで近くにおいて見守ったり、声をかけたりしてあげてください。特に低学年は、一緒に考えたり、音読を聞いてあげたりすることも必要です。お子さんのがんばりを認めて、やる気を高めましょう。

家庭へのお願い② → ストップ・ザ・見放題!

<時間を有効に使いましょう>

学年が上がるほど、習い事や少年団等で学習時間の確保が難しくなります。また、家庭においては、家族団らんも大切なひとときです。そこで、テレビやゲームの時間を限定し、家庭学習の時間を生み出しましょう。家族で相談して、見たいテレビの時間帯や曜日を決めるとよいでしょう。



家庭へのお願い③ → 家読のすすめ

<読書に親しむ環境を作りましょう>

文章を読んで内容を理解したり、本に書かれている世界に興味をもったりすることは、学習の基礎を培う上でも、また豊かな情操を養う上でも、とても大切なことです。また、1冊の本との出会いが、学習への意欲や関心を高めることもあります。お子さんの興味に合わせた本を薦めたり、親子で同じ本を読み合って感想を話し合ったりするなど、家庭で本とふれあう機会を作りましょう。



家庭学習の具体例

<低学年>

- 国語の教科書を音読する。(隣りで保護者の方が聞いてあげると、なおよいですね。)
- 教科書の文や漢字を正しく書き写す。「ゆっくり丁寧に」を心掛ける。
- たし算、ひき算の問題を繰り返し練習したり、式に合わせて問題文を作ったりする。
- かけ算の九九を何度も書いたり唱えたりする。(2年生の学習後)
- 学校での出来事などを順序よく話す。
- 短い日記を書いたり、言葉集めをしたりする。

九九は2年生のうちに完璧に覚えましょう!

<中学年>

- 国語の教科書を音読する。
- 教科書の文や漢字を正しく書き写す。(新出漢字を使って短文作りをする。)
- 国語辞典を使い、教科書に出てきた言葉の意味調べをする。
- かけ算やわり算の計算問題を繰り返し練習する。
- 理科や社会で学習した内容を自分でまとめ直す。(新聞つくりなど)
- 身の周りの言葉をローマ字で書いてみる。

<高学年>

- 国語の教科書を音読する。
- 教科書の文や漢字を正しく書き写す。(新出漢字を使って熟語、短文作りをする。)
- 国語辞典を使い、教科書に出てきた言葉の意味調べをする。
- 小数や分数の計算問題を繰り返し練習する。
- 理科や社会で学習した内容を自分でまとめ直したり、さらに詳しく調べたりする。
- 新聞で気になった記事をスクラップし、感想を書く。
- 『We Can!』に出てくる英単語を読んだり、ノートに書き写したりする。

習ったことは、
その日のうちに復習!



毎日、コツコツと続ける
ことが大切です!